

第 2 回別府市学校給食運営委員会 議事要旨

日 時	令和 4 年 8 月 26 日（金） 9：00～10：10
場 所	別府市 5 階大会議室
出席者	<p>（委員）</p> <p>委員長 高松 伸枝 別府大学食物栄養科学部 教授</p> <p>委 員 神 淳祐 別府市立中学校長会長</p> <p>委 員 友成 朗 学校薬剤師（別府市薬剤師会会長）</p> <p>委 員 川口 恵美 別府市 P T A 連合会副会長</p> <p>委 員 佐々木 麻里 東部保健所衛生課食品衛生・薬事班総括主幹</p> <p>委 員 渡邊 智子 石垣小学校栄養教諭</p> <p>委 員 柏木 正義 別府市教育部長</p> <p>（別府市教育委員会）</p> <p>教育長 寺岡 悌二</p> <p>（事務局）</p> <p>別府市教育部教育政策課</p>
議 事	第 2 回別府市学校給食運営委員会
<p>教育長より諮問書手交</p> <p>別府市学校給食運営委員会（以下、「運営委員会」という。）へ別府市教育委員会（以下、「市教委」という。）より諮問</p> <p>「別府市立学校における食育推進計画の策定について」</p> <p>計画の基本方針について運営委員会の意見を求める旨を述べた。</p> <p>教育長あいさつ</p> <p>議事録署名員の選出</p> <p>委員長指名で別府市立中学校長会長の神氏、別府市 P T A 連合会副会長の川口氏を指名し、承認された。</p> <p>議事 1</p> <p>諮問事項</p> <p>（1）別府市立学校における食育推進計画の策定について</p> <p>標題について、別府市からの資料を基に食育に関する関係法令等、別府市における児童生徒を取巻く現状等、及び食育に関する教育委員会の考え等について説明した上で、基本方針について審議をお願いした。</p>	

委員からの質問と事務局の回答

委員：諮問にある「別府市立学校における食育推進計画」は今回初めて策定するのか。また、委員会の役割と策定のスケジュールはどうなっているか。

回答：初めて策定する。また、委員会には計画の基本方針を審議いただく。運営委員会から得た答申を反映させて、新施設稼働開始までに市教委にて計画策定する。

委員：一元化されることによって効率化が図られ、スケールメリットによって食材調達経費も抑えられることになると思うが、現在食材費の高騰も続いているので、それへの対策はどう考えているのか。また、また給食調理後の余剰食材について食品ロス問題としてしっかり考慮して対応いただけると食育というものが更に実効性のあるものになるのではないか。

回答：現在既に食材が高騰しているが、単独調理場及び共同調理場において、栄養士等が献立作成を工夫することで対応している。新施設においても、学校給食が、子ども達の給食の生きた媒体となるよう、栄養教諭と連携して望ましい運用を行っていく。

委員からの現状報告

委員からの報告：

現在の別府市立学校における食育では、概ね以下の3項目が実施されている。

① 教科教育における食育

家庭科、保健体育、生活科、特別活動 等において

② 給食時間における指導

行事食や地産地消について紹介する 等

③ 学校全体としての食育

学校毎の食に関する指導の全体計画・年間指導計画に沿った指導

学校によっては給食委員会発信の給食集会 等

委員からの報告：

上述の報告内容に加えて、学級活動において1日の生活で自身の健康管理を含め食事について考える時間を設けて日頃から食生活を見直していけるように動機付けしている。また、総合的な学習について、指導要領に必ずしも食育が指定されていないため、学校毎に異なった指導がなされている。

自身が教鞭を執っていた時には、弁当屋へ出向くなどフィールドワークを通じて得た知識や情報を基に、グループ単位で郷土料理を活かした弁当を作ってみることなどを実施していた。

学校運営も全体のキャパシティは限られているので、食育に関して拡充というよりは内容を充実させて対応できればと感じた。

その他委員から発言

その他委員より一言ずつ意見聴取した。

主旨・学校における食育推進計画の基となるので、市の食育推進計画の内容を把握したい。

- ・コロナ禍でもあり、家庭や地域の意見を拾って欲しい。市民から「いつ計画が決まったのか」と言われないようにしてほしい。
- ・食物の危険性についても知らせたい。効果指標の設定も重要となる。
- ・主体性を持って学ぶ姿勢を育む内容としたい。

議事 2

報告事項

(1) 別府市学校給食センター（仮称）調理配送等委託落札業者について

令和4年7月4日実施の入札において、株式会社メフォスが落札の旨を報告。

閉会